


協会けんぽ加入者の受診行動の分析 (平成23年12月)

- 
- 1 重複受診の状況
 - 2 重複投薬の状況
 - 3 診療時間帯別の受診状況

[分析の目的]

この分析は、重複受診、重複投薬、時間外受診といった協会けんぽの加入者の受診行動を明らかにし、医療や医療費の適正化に取り組む上での基礎資料を得ることを目的としたものである。

[留意点]

1 重複受診の状況

- ・ 平成23年12月診療分の入院外レセプトを集計対象とした。
- ・ ある個人の複数の入院外レセプトに同一の傷病分類コード（121分類）の傷病が記載されている状態を重複受診とした。
- ・ 傷病は入院外レセプトに記載されているすべての傷病を使用した。
- ・ 用語の意味は、次のとおりである。

患者数 ある個人のすべての入院外レセプトに出現するすべての傷病を傷病分類コード別に分類（以下「傷病分類」という。）したときの分類の数。例えば、ある個人が傷病分類で「糖尿病」と「中耳炎」となる傷病で医療機関に受診した場合は、患者数は糖尿病で1人、中耳炎で1人とカウントする。

1人当たり件数 ある個人のある傷病分類について元となる傷病分類コードの傷病が出現した入院外レセプトの件数。重複受診の場合は2以上となる。例えば、ある個人が糖尿病と中耳炎の患者であるとき、傷病分類コードが「糖尿病」の傷病の記載があるレセプトが1件、「中耳炎」の傷病の記載のあるレセプトが2件あった場合、この者は1人当たり件数1で1人、1人当たり件数2で1人とカウントする。

2 重複投薬の状況

- ・ 平成23年12月診療分の調剤レセプトを集計対象とした。
- ・ ある個人が複数の医療機関に同一の医薬品を処方された状態を重複投薬とした。

- ・ 医薬品は調剤レセプトに記載されているすべての医薬品を使用した。
- ・ 用語の意味は、次のとおりである。

患者数 ある個人のすべての調剤レセプトに出現するすべての医薬品を医薬品コード別に分類（以下「医薬品分類」という。）したときの分類の数。例えば、ある個人が「医薬品A」と「医薬品B」が処方された場合は、患者数は医薬品Aで1人、医薬品Bで1人とカウントする。

1人当たり件数 ある個人のある医薬品分類について元となる医薬品コードの医薬品が出現した処方箋発行医療機関の異なる調剤レセプトの件数。重複投薬の場合は2以上となる。例えば、ある個人に医薬品Aと医薬品Bが処方されたとき、「医薬品A」の記載のあるレセプトが1件、「医薬品B」の記載のある処方箋発行医療機関の異なるレセプトが2件あった場合、この者は1人当たり件数1で1人、1人当たり件数2で1人とカウントする。

3 診療時間帯別の受診状況

- ・ 平成23年12月診療分の入院外レセプトのうち初診料が算定されている診療を集計対象とした。
- ・ 傷病は主傷病を使用した。
- ・ 診療時間帯の定義は以下のとおりとする。
 - 「時間外」は時間外加算または時間外加算の特例が算定されている診療
 - 「休日」は休日加算が算定されている診療
 - 「深夜」は深夜加算が算定されている診療
 - 「時間内」は ~ のいずれも算定されていない診療

1 重複受診の状況

・平成23年12月の入院外の患者数は16,919,312人であり、重複受診患者（レセプト件数が2以上）は329,571人で全体の1.95%を占める。重複受診患者の多くはレセプト件数が2の患者である。（表1-1）

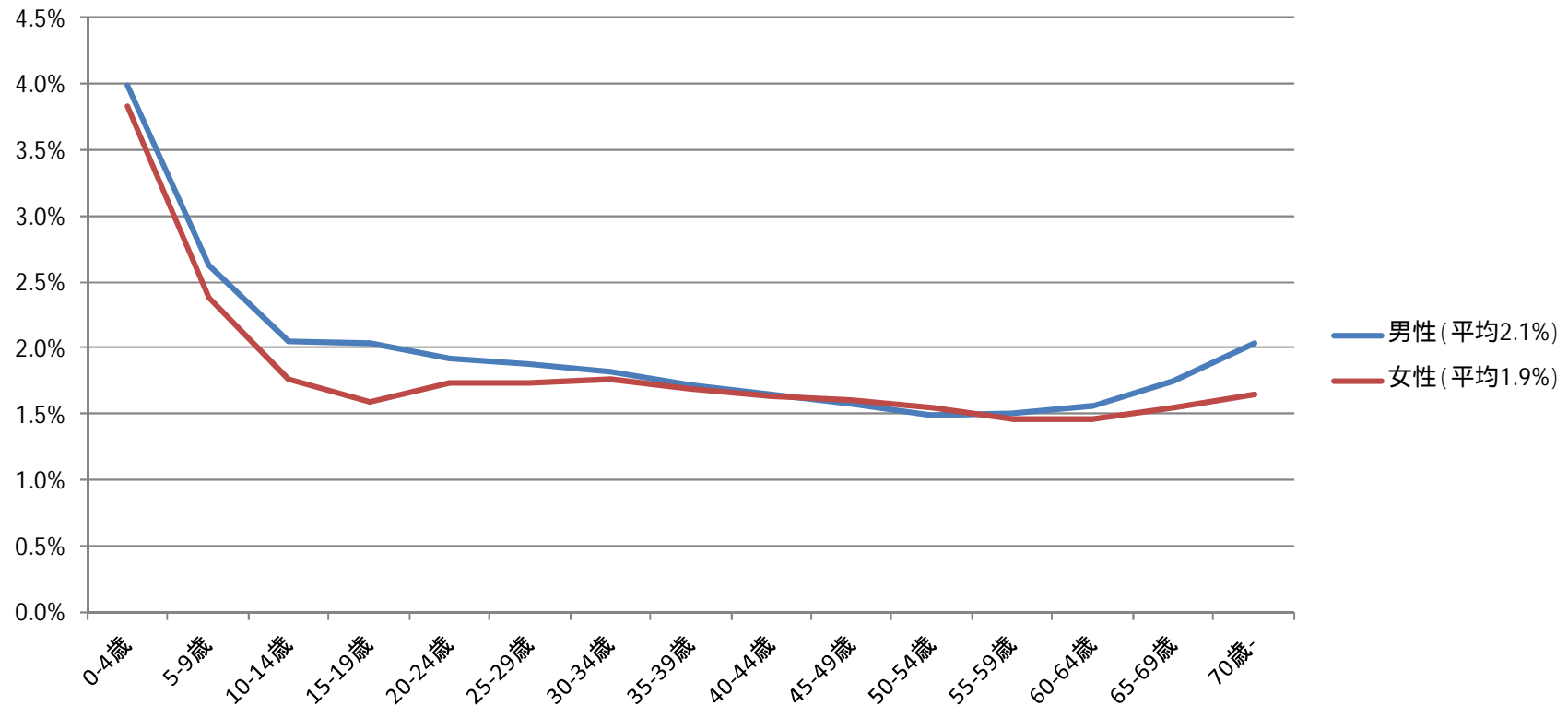
表1-1 重複受診の状況(平成23年12月)

1人当たり件数(件)	患者数(人)	構成割合(%)
1	16,589,741	98.05
2	316,307	1.87
3	11,657	0.07
4	1,110	0.01
5	219	0.00
6	96	0.00
7	43	0.00
8	31	0.00
9	15	0.00
10	20	0.00

1人当たり件数(件)	患者数(人)	構成割合(%)
11	12	0.00
12	13	0.00
13	11	0.00
14	5	0.00
15	4	0.00
16	4	0.00
17	3	0.00
18	6	0.00
19	2	0.00
20以上	13	0.00
(再掲)2以上	329,571	1.95
合計	16,919,312	100.00

・年齢階級別に重複受診患者の割合をみると、男女で大きな差はなく、0-4歳で最も高く4%程度となっており、19歳まで減少し、以降、同水準で推移している。（図1-2）

図1-2 年齢別・性別の重複受診患者割合(平成23年12月)



- ・ 重複受診患者割合を傷病分類別にみると、脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群（11.6%）、妊娠及び胎児発育に関する障害（7.2%）、熱傷及び腐食（6.7%）、腎不全（6.5%）などが高くなっている。（表1-3）

表1-3 傷病別の重複受診状況(平成23年12月)

傷病コード・名称	患者数	重複受診患者数	重複受診患者割合
感染症及び寄生虫症	843,750	22,805	2.7%
0105 ウイルス肝炎	62,399	3,020	4.8%
新生物	500,980	17,746	3.5%
0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物	21,244	1,188	5.6%
0206 乳房の悪性新生物	58,942	3,378	5.7%
0208 悪性リンパ腫	8,982	481	5.4%
0210 その他の悪性新生物	73,869	3,247	4.4%
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	100,232	1,226	1.2%
内分泌, 栄養及び代謝疾患	1,325,279	32,759	2.5%
0402 糖尿病	534,913	26,076	4.9%
精神及び行動の障害	663,731	12,835	1.9%
神経系の疾患	375,230	11,067	2.9%
0601 パーキンソン病	7,479	427	5.7%
0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	11,685	1,351	11.6%
眼及び付属器の疾患	1,394,395	11,569	0.8%
耳及び乳様突起の疾患	323,866	6,883	2.1%
循環器系の疾患	2,102,034	19,222	0.9%
呼吸器系の疾患	4,101,375	89,887	2.2%
消化器系の疾患	958,254	12,008	1.3%
皮膚及び皮下組織の疾患	1,473,963	26,193	1.8%
筋骨格系及び結合組織の疾患	1,224,808	21,260	1.7%
腎尿路生殖器系の疾患	560,971	9,895	1.8%
1402 腎不全	30,539	1,996	6.5%
1403 尿路結石症	27,397	1,440	5.3%
妊娠, 分娩及び産じょく	75,853	2,151	2.8%
周産期に発生した病態	21,812	1,470	6.7%
1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	13,953	1,000	7.2%
先天奇形, 変形及び染色体異常	57,068	2,773	4.9%
1702 その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	46,162	2,298	5.0%
症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見	296,581	6,584	2.2%
損傷, 中毒及びその他の外因の影響	519,130	21,238	4.1%
1903 熱傷及び腐食	18,640	1,249	6.7%

・重複受診患者（1人当たり件数が2以上）の傷病分類別の構成割合をみると、10歳から24歳で他の損傷及び他の外因の影響が高くなっている。45歳以降では糖尿病が高くなっている。（表1-4-1）

表1-4-1 重複受診患者数(1人当たり件数が2以上)上位5疾病と割合(平成23年12月)

順位	0-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳
1	他の急性上気道感染症 21.5%	喘息 17.7%	他の損傷及び他の外因の影響 15.0%	他の損傷及び他の外因の影響 20.4%	他の損傷及び他の外因の影響 8.5%	他の急性上気道感染症 9.6%	他の急性上気道感染症 10.7%	他の急性上気道感染症 9.6%
2	喘息 13.5%	他の急性上気道感染症 17.0%	他の急性上気道感染症 10.8%	他の皮膚及び皮下組織の疾患 6.2%	他の急性上気道感染症 8.2%	他の損傷及び他の外因の影響 6.1%	皮膚炎及び湿疹 5.4%	他の損傷及び他の外因の影響 5.5%
3	急性気管支及び細気管支炎 10.4%	急性気管支及び細気管支炎 8.3%	喘息 8.7%	他の急性上気道感染症 5.9%	腸管感染症 7.4%	皮膚炎及び湿疹 6.1%	他の損傷及び他の外因の影響 5.1%	皮膚炎及び湿疹 4.6%
4	皮膚炎及び湿疹 10.1%	腸管感染症 5.7%	急性気管支及び細気管支炎 5.8%	皮膚炎及び湿疹 5.6%	皮膚炎及び湿疹 6.8%	腸管感染症 6.0%	腸管感染症 4.7%	良性新生物 4.2%
5	腸管感染症 8.9%	皮膚炎及び湿疹 5.2%	アレルギー性鼻炎 5.0%	屈折及び調節の障害 4.9%	他の皮膚及び皮下組織の疾患 6.5%	他の皮膚及び皮下組織の疾患 5.0%	他の皮膚及び皮下組織の疾患 3.9%	喘息 3.9%
順位	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳-	
1	他の急性上気道感染症 6.7%	糖尿病 9.8%	糖尿病 13.5%	糖尿病 18.8%	糖尿病 23.4%	糖尿病 26.3%	糖尿病 25.4%	
2	糖尿病 6.6%	良性新生物 5.3%	高血圧性疾患 6.8%	高血圧性疾患 7.9%	高血圧性疾患 9.3%	高血圧性疾患 11.0%	高血圧性疾患 13.4%	
3	他の損傷及び他の外因の影響 5.4%	他の神経系の疾患 4.8%	他の神経系の疾患 4.1%	他の神経系の疾患 3.4%	脊椎障害(脊椎症を含む) 3.0%	脊椎障害(脊椎症を含む) 3.6%	脊椎障害(脊椎症を含む) 5.2%	
4	良性新生物 5.1%	他の損傷及び他の外因の影響 4.7%	他の損傷及び他の外因の影響 4.1%	他の損傷及び他の外因の影響 3.3%	他の神経系の疾患 2.8%	他の悪性新生物 3.5%	関節症 4.0%	
5	他の神経系の疾患 4.6%	高血圧性疾患 4.4%	良性新生物 3.4%	他の眼及び付属器の疾患 2.7%	他の悪性新生物 2.8%	関節症 2.5%	他の悪性新生物 3.4%	

・重複受診患者（1人当たり件数が4以上）の傷病分類別の構成割合をみると、5歳から19歳で他の精神及び行動の障害が高くなっている。20歳以降では、他の神経系の疾患（不眠症など）が高くなっている。（表1-4-2）

表1-4-2 重複受診患者数(1人当たり件数が4以上)上位5疾病と割合(平成23年12月)

順位	0-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳
1	他の急性上気道感染症 18.5%	喘息 20.9%	他の精神及び行動の障害 15.2%	他の精神及び行動の障害 15.9%	他の神経系の疾患 23.5%	他の神経系の疾患 31.4%	他の神経系の疾患 33.9%	他の神経系の疾患 36.4%
2	喘息 18.0%	他の精神及び行動の障害 14.9%	他の筋骨格系及び結合組織の疾患 15.2%	気分[感情]障害(躁うつ病を含む) 11.4%	神経症性障害, ストレス関連障害 14.7%	統合失調症及び妄想性障害 15.3%	神経症性障害, ストレス関連障害 16.4%	神経症性障害, ストレス関連障害 9.8%
3	腸管感染症 11.6%	他の急性上気道感染症 11.9%	他の損傷及び他の外因の影響 12.1%	骨折 9.1%	気分[感情]障害(躁うつ病を含む) 11.8%	気分[感情]障害(躁うつ病を含む) 9.3%	気分[感情]障害(躁うつ病を含む) 12.7%	統合失調症及び妄想性障害 9.2%
4	皮膚炎及び湿疹 8.2%	他の先天奇形, 変形及び染色体異常 10.4%	脳性麻痺及び他の麻痺性症候群 9.1%	神経症性障害, ストレス関連障害 6.8%	良性新生物 4.4%	神経症性障害, ストレス関連障害 7.6%	統合失調症及び妄想性障害 6.7%	気分[感情]障害(躁うつ病を含む) 9.2%
5	妊娠及び胎児発育に関連する障害 7.3%	てんかん 9.0%	良性新生物 6.1%	他の神経系の疾患 6.8%	統合失調症及び妄想性障害 4.4%	喘息 4.2%	他の消化器系の疾患 4.8%	良性新生物 2.7%
順位	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳-	
1	他の神経系の疾患 40.7%	他の神経系の疾患 44.3%	他の神経系の疾患 46.2%	他の神経系の疾患 33.3%	他の神経系の疾患 29.7%	他の神経系の疾患 17.1%	糖尿病 31.0%	
2	気分[感情]障害(躁うつ病を含む) 14.5%	気分[感情]障害(躁うつ病を含む) 10.7%	神経症性障害, ストレス関連障害 6.6%	気分[感情]障害(躁うつ病を含む) 8.3%	高血圧性疾患 7.9%	他の悪性新生物 12.2%	高血圧性疾患 14.3%	
3	神経症性障害, ストレス関連障害 6.9%	神経症性障害, ストレス関連障害 7.1%	高血圧性疾患 5.7%	他の悪性新生物 5.0%	他の損傷及び他の外因の影響 7.9%	乳房の悪性新生物 7.3%	他の神経系の疾患 9.5%	
4	統合失調症及び妄想性障害 4.1%	良性新生物 3.6%	気分[感情]障害(躁うつ病を含む) 4.7%	統合失調症及び妄想性障害 4.2%	糖尿病 5.9%	脊椎障害(脊椎症を含む) 7.3%	脊椎障害(脊椎症を含む) 7.1%	
5	乳房の悪性新生物 3.4%	喘息 3.6%	乳房の悪性新生物 3.8%	神経症性障害, ストレス関連障害 4.2%	乳房の悪性新生物 3.0%	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患 4.9%	他の悪性新生物 4.8%	

・重複受診患者の割合を都道府県別にみると、沖縄（2.23%）、和歌山（2.17%）鹿児島（2.17%）、徳島（2.16%）などが高くなっている。（表1-5）

表1-5 都道府県別重複受診状況(平成23年12月)

	患者数	重複受診患者数	重複受診患者割合
北海道	783,957	12,859	1.64%
青森	209,044	3,542	1.69%
岩手	193,175	2,974	1.54%
宮城	342,880	6,988	2.04%
秋田	172,328	2,602	1.51%
山形	198,946	3,281	1.65%
福島	308,291	6,388	2.07%
茨城	279,359	5,049	1.81%
栃木	241,468	4,357	1.80%
群馬	284,332	5,615	1.97%
埼玉	482,368	9,179	1.90%
千葉	331,456	6,599	1.99%
東京	1,722,948	35,236	2.05%
神奈川	587,745	11,824	2.01%
新潟	375,459	5,641	1.50%
富山	188,205	3,204	1.70%
石川	193,989	3,025	1.56%
福井	137,766	2,354	1.71%
山梨	116,405	2,507	2.15%
長野	281,210	4,875	1.73%
岐阜	347,083	6,697	1.93%
静岡	448,162	8,290	1.85%
愛知	1,097,210	22,119	2.02%
三重	243,299	4,620	1.90%

	患者数	重複受診患者数	重複受診患者割合
滋賀	155,002	3,086	1.99%
京都	386,862	7,811	2.02%
大阪	1,446,072	30,506	2.11%
兵庫	680,464	13,947	2.05%
奈良	142,577	2,723	1.91%
和歌山	146,205	3,168	2.17%
鳥取	92,709	1,630	1.76%
島根	131,289	2,413	1.84%
岡山	357,957	7,354	2.05%
広島	491,423	9,905	2.02%
山口	215,329	3,726	1.73%
徳島	139,425	3,013	2.16%
香川	186,504	3,640	1.95%
愛媛	251,488	4,913	1.95%
高知	120,028	2,414	2.01%
福岡	860,189	17,986	2.09%
佐賀	145,294	2,723	1.87%
長崎	221,172	3,874	1.75%
熊本	300,741	6,267	2.08%
大分	198,896	4,017	2.02%
宮崎	183,983	3,677	2.00%
鹿児島	287,509	6,243	2.17%
沖縄	211,109	4,710	2.23%
合計	16,919,312	329,571	1.95%

2 重複投薬の状況

- ・平成23年12月の調剤の患者数は36,594,035人で、重複投薬患者（レセプト件数が2以上）は230,390人で全体の0.63%となっている。（表2-1）

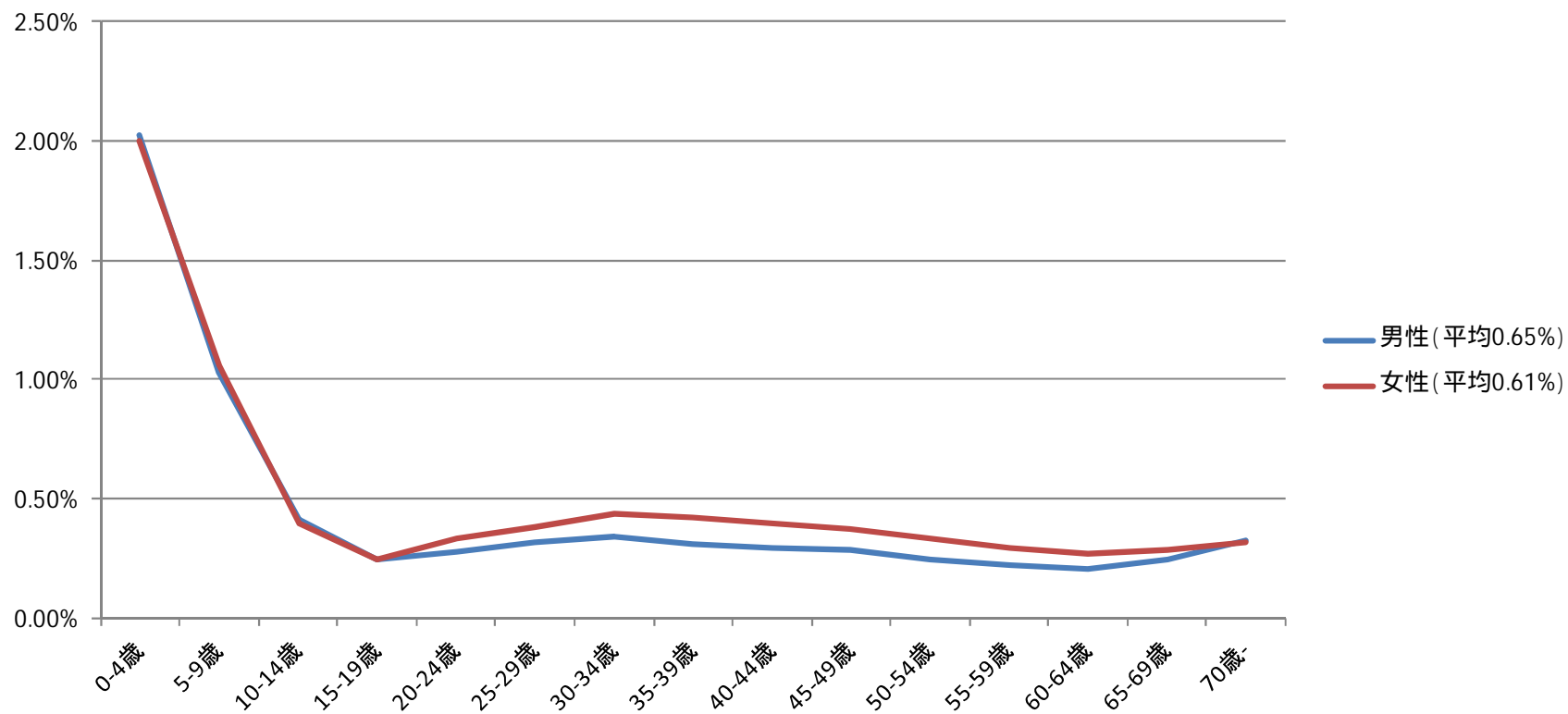
表2-1 重複投薬の状況(平成23年12月)

1人当たり件数(件)	患者数(人)	構成割合(%)
1	36,363,645	99.37
2	225,085	0.62
3	4,571	0.01
4	365	0.00
5	138	0.00
6	63	0.00
7	55	0.00
8	27	0.00
9	14	0.00
10	14	0.00

1人当たり件数(件)	患者数(人)	構成割合(%)
11	18	0.00
12	14	0.00
13	5	0.00
14	2	0.00
15	1	0.00
16	3	0.00
17	4	0.00
18	0	0.00
19	3	0.00
20以上	8	0.00
(再掲)2以上 合計	230,390 36,594,035	0.63 100.000

・年齢階級別に重複投薬患者の割合をみると、男女で大きな差はなく0-4歳で最も高く2%程度となっており、19歳まで減少し、以降同水準で推移している。（図2-2）

図2-2 年齢別・性別の重複投薬患者割合(平成23年12月)



・重複投薬患者の割合を薬効分類別にみると、鎮咳去たん剤（2.73%）、去たん剤（2.09%）、抗ヒスタミン剤（1.45%）などが高くなっている。（表2-3）

表2-3 薬効分類別の重複投薬状況（平成23年12月）

薬効分類コード・名称	患者数	重複投薬患者数	重複投薬患者割合
11 中枢神経用薬	4,793,026	32,347	0.67%
112 催眠鎮静剤、抗不安薬	962,808	8,244	0.86%
114 解熱鎮痛消炎剤	2,126,959	16,407	0.77%
12 末梢神経系用剤	310,935	904	0.29%
13 感覚器官用薬	1,483,770	3,521	0.24%
21 循環器官用剤	4,105,382	4,323	0.11%
216 血管収縮剤	42,761	457	1.07%
22 呼吸器官用薬	5,825,423	96,585	1.66%
223 去たん剤	2,430,842	50,820	2.09%
224 鎮咳去たん剤	1,000,609	27,314	2.73%
225 気管支拡張剤	1,108,415	13,783	1.24%
23 消化器官用薬	4,586,725	24,160	0.53%
231 止しゃ剤、整腸剤	1,163,516	13,384	1.15%
24 ホルモン剤（抗ホルモン剤を含む）	687,604	1,439	0.21%
26 外皮用薬	2,985,370	8,486	0.28%
31 ビタミン剤	647,357	1,671	0.26%
33 血液・体液用薬	1,464,848	6,192	0.42%
39 その他の代謝性医薬品	1,857,964	2,561	0.14%
44 アレルギー用薬	3,032,896	26,992	0.89%
441 抗ヒスタミン剤	973,655	14,158	1.45%
52 漢方製剤	721,690	1,379	0.19%
61 抗生物質製剤	2,469,543	14,910	0.60%
613 主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの	1,304,757	9,440	0.72%
62 化学療法剤	693,973	2,693	0.39%
71 調剤用薬	325,729	1,170	0.36%

・重複投薬患者（1人当たり件数が2以上）の薬効分類別の構成割合をみると、0歳から14歳は去たん剤が高くなっている。15歳から59歳は解熱鎮痛消炎剤が、60歳以降は鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤が高くなっている。（表2-4-1）

表2-4-1 重複投薬患者数(1人当たり件数が2以上)上位5薬効分類と割合(平成23年12月)

順位	0-4歳		5-9歳		10-14歳		15-19歳		20-24歳		25-29歳		30-34歳		35-39歳	
1	去たん剤	31.6%	去たん剤	30.6%	去たん剤	23.5%	解熱鎮痛消炎剤	17.6%	解熱鎮痛消炎剤	16.9%	解熱鎮痛消炎剤	15.7%	解熱鎮痛消炎剤	16.2%	解熱鎮痛消炎剤	15.3%
2	鎮咳去たん剤	18.8%	鎮咳去たん剤	17.1%	解熱鎮痛消炎剤	14.2%	その他のアレルギー用剤	9.7%	催眠鎮静剤、抗不安薬	6.8%	催眠鎮静剤、抗不安薬	8.7%	催眠鎮静剤、抗不安薬	9.0%	催眠鎮静剤、抗不安薬	9.2%
3	抗ヒスタミン剤	10.4%	気管支拡張剤	8.5%	その他のアレルギー用剤	10.6%	去たん剤	8.7%	去たん剤	6.3%	去たん剤	6.9%	去たん剤	8.9%	去たん剤	8.2%
4	止しゃ剤、整腸剤	8.7%	その他のアレルギー用剤	8.0%	鎮咳剤	7.0%	主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの	5.9%	消化性潰瘍用剤	6.2%	精神神経用剤	6.3%	消化性潰瘍用剤	5.9%	消化性潰瘍用剤	5.9%
5	気管支拡張剤	8.7%	抗ヒスタミン剤	7.1%	気管支拡張剤	6.1%	消化性潰瘍用剤	5.1%	その他のアレルギー用剤	6.1%	消化性潰瘍用剤	5.8%	精神神経用剤	5.3%	その他のアレルギー用剤	5.6%
順位	40-44歳		45-49歳		50-54歳		55-59歳		60-64歳		65-69歳		70歳-			
1	解熱鎮痛消炎剤	14.7%	解熱鎮痛消炎剤	14.7%	解熱鎮痛消炎剤	13.4%	解熱鎮痛消炎剤	11.5%	鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤	10.8%	鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤	13.1%	鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤	21.0%		
2	催眠鎮静剤、抗不安薬	10.6%	催眠鎮静剤、抗不安薬	12.9%	催眠鎮静剤、抗不安薬	11.2%	催眠鎮静剤、抗不安薬	9.8%	解熱鎮痛消炎剤	10.3%	催眠鎮静剤、抗不安薬	11.2%	催眠鎮静剤、抗不安薬	9.8%		
3	去たん剤	6.7%	消化性潰瘍用剤	7.2%	消化性潰瘍用剤	7.6%	鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤	9.2%	催眠鎮静剤、抗不安薬	10.2%	解熱鎮痛消炎剤	9.3%	解熱鎮痛消炎剤	8.3%		
4	消化性潰瘍用剤	6.3%	精神神経用剤	6.5%	鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤	6.9%	消化性潰瘍用剤	8.3%	消化性潰瘍用剤	8.1%	消化性潰瘍用剤	8.0%	消化性潰瘍用剤	7.7%		
5	精神神経用剤	6.2%	去たん剤	5.1%	精神神経用剤	5.9%	精神神経用剤	5.0%	精神神経用剤	4.6%	精神神経用剤	3.7%	眼科用剤	3.6%		

・重複投薬患者（1人当たり件数が3以上）の薬効分類別の構成割合をみると、0歳から14歳までは去たん剤が高くなっている。15歳以降では催眠鎮静剤、抗不安薬が高くなっている。（表2-4-2）

表2-4-2 重複投薬患者数(1人当たり件数が3以上)上位5薬効分類と割合(平成23年12月)

順位	0-4歳		5-9歳		10-14歳		15-19歳		20-24歳		25-29歳		30-34歳		35-39歳	
1	去たん剤	41.1%	去たん剤	37.7%	去たん剤	51.9%	催眠鎮静剤、抗不安薬	20.0%	催眠鎮静剤、抗不安薬	54.8%	催眠鎮静剤、抗不安薬	53.8%	催眠鎮静剤、抗不安薬	55.2%	催眠鎮静剤、抗不安薬	43.9%
2	鎮咳去たん剤	25.3%	鎮咳去たん剤	24.0%	解熱鎮痛消炎剤	11.5%	解熱鎮痛消炎剤	20.0%	解熱鎮痛消炎剤	9.7%	精神神経用剤	18.4%	精神神経用剤	11.8%	精神神経用剤	17.6%
3	止しゃ剤、整腸剤	8.9%	気管支拡張剤	7.2%	気管支拡張剤	7.7%	去たん剤	13.3%	精神神経用剤	6.5%	解熱鎮痛消炎剤	7.6%	解熱鎮痛消炎剤	6.3%	解熱鎮痛消炎剤	10.3%
4	抗ヒスタミン剤	8.3%	止しゃ剤、整腸剤	7.0%	その他のアレルギー用剤	7.7%	血液凝固阻止剤	13.3%	その他のアレルギー用剤	4.8%	利尿剤	1.9%	消化性潰瘍用剤	2.8%	去たん剤	2.2%
5	気管支拡張剤	6.5%	その他のアレルギー用剤	6.0%	鎮咳剤	5.8%	消化性潰瘍用剤	6.7%	去たん剤	3.2%	鎮けい剤	1.3%	去たん剤	2.1%	消化性潰瘍用剤	2.2%
順位	40-44歳		45-49歳		50-54歳		55-59歳		60-64歳		65-69歳		70歳-			
1	催眠鎮静剤、抗不安薬	54.5%	催眠鎮静剤、抗不安薬	44.1%	催眠鎮静剤、抗不安薬	42.5%	催眠鎮静剤、抗不安薬	42.7%	催眠鎮静剤、抗不安薬	38.4%	催眠鎮静剤、抗不安薬	39.2%	催眠鎮静剤、抗不安薬	32.1%		
2	精神神経用剤	17.0%	精神神経用剤	13.7%	解熱鎮痛消炎剤	16.1%	解熱鎮痛消炎剤	14.1%	精神神経用剤	14.8%	鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤	11.4%	鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤	28.4%		
3	解熱鎮痛消炎剤	12.3%	解熱鎮痛消炎剤	12.1%	精神神経用剤	11.4%	精神神経用剤	10.4%	鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤	9.4%	精神神経用剤	10.1%	精神神経用剤	11.1%		
4	去たん剤	2.2%	消化性潰瘍用剤	3.8%	鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤	3.9%	鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤	7.3%	解熱鎮痛消炎剤	8.4%	解熱鎮痛消炎剤	6.3%	解熱鎮痛消炎剤	7.4%		
5	総合感冒剤	1.4%	総合感冒剤	3.5%	総合感冒剤	2.8%	総合感冒剤	4.2%	消化性潰瘍用剤	3.9%	総合感冒剤	5.1%	下剤、浣腸剤	6.2%		

・重複投薬患者の割合を都道府県別にみると、山梨（0.85%）、島根（0.85%）などが高くなっている。（表2-5）

表2-5 都道府県別重複投薬状況（平成23年12月）

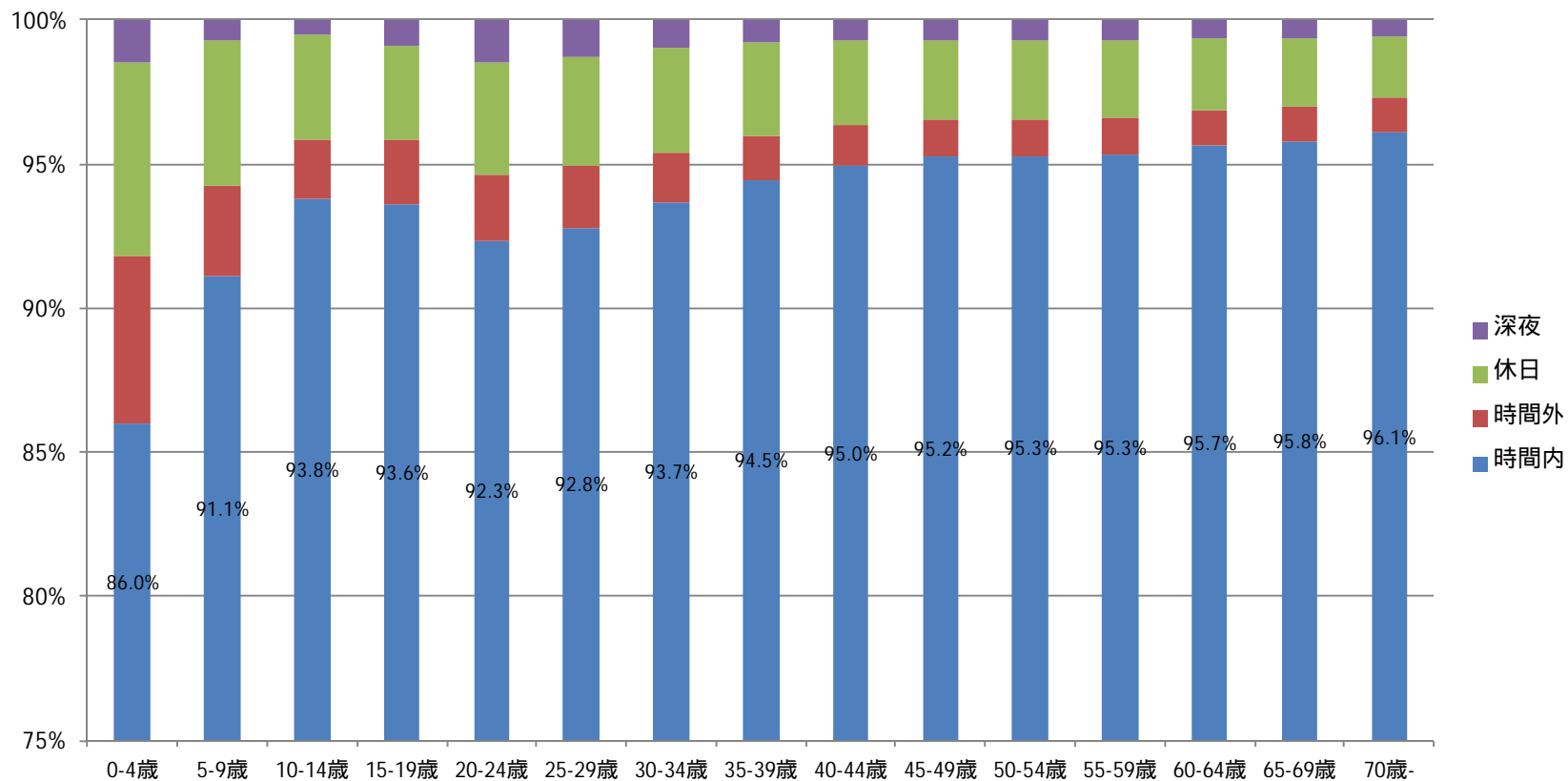
	患者数	重複投薬患者数	重複投薬患者割合
北海道	2,023,301	11,757	0.58%
青森	524,627	3,329	0.63%
岩手	463,454	2,524	0.54%
宮城	836,281	5,132	0.61%
秋田	442,585	3,406	0.77%
山形	401,205	2,458	0.61%
福島	706,819	4,788	0.68%
茨城	614,405	3,769	0.61%
栃木	463,958	2,497	0.54%
群馬	486,391	2,602	0.53%
埼玉	1,123,150	6,601	0.59%
千葉	770,946	4,815	0.62%
東京	4,149,289	30,499	0.74%
神奈川	1,481,213	10,347	0.70%
新潟	876,329	4,358	0.50%
富山	294,828	1,226	0.42%
石川	311,783	1,285	0.41%
福井	172,395	538	0.31%
山梨	268,163	2,270	0.85%
長野	519,167	2,187	0.42%
岐阜	722,927	4,884	0.68%
静岡	978,624	5,347	0.55%
愛知	2,185,062	15,916	0.73%
三重	446,041	2,604	0.58%

	患者数	重複投薬患者数	重複投薬患者割合
滋賀	305,984	1,729	0.57%
京都	635,890	3,180	0.50%
大阪	2,776,788	17,115	0.62%
兵庫	1,440,735	8,090	0.56%
奈良	238,553	1,236	0.52%
和歌山	196,121	1,140	0.58%
鳥取	181,396	1,208	0.67%
島根	281,025	2,387	0.85%
岡山	663,204	3,984	0.60%
広島	1,142,501	8,099	0.71%
山口	485,984	2,920	0.60%
徳島	228,980	1,812	0.79%
香川	366,890	2,701	0.74%
愛媛	421,780	3,318	0.79%
高知	233,506	1,829	0.78%
福岡	2,163,106	12,834	0.59%
佐賀	367,203	1,993	0.54%
長崎	491,481	2,145	0.44%
熊本	675,567	4,503	0.67%
大分	459,120	3,439	0.75%
宮崎	447,322	2,659	0.59%
鹿児島	633,648	3,940	0.62%
沖縄	494,308	2,990	0.60%
合計	36,594,035	230,390	0.63%

3 診療時間帯別の受診状況

- ・平成23年12月の時間内診療の割合を年齢階級別にみると、0-9歳で最も低く86.0%となっている。20-24歳以降は階級が高くなるに従い緩やかに上昇している。（図3-1）

図3-1 年齢階級別診療時間帯の状況(平成23年12月)



・時間内診療の割合を傷病別にみると、頭蓋内損傷及び内臓の損傷（65.8%）、脳内出血（69.0%）、精神作用物質使用による精神及び行動の障害（78.1%）などが低くなっている。（表3-2）

表3-2 傷病分類別診療時間帯の状況(平成23年12月)

傷病コード・名称	合計	診療回数				構成割合			
		時間内	時間外	休日	深夜	時間内	時間外	休日	深夜
感染症及び寄生虫症	517,106	439,529	21,785	43,725	12,067	85.0%	4.2%	8.5%	2.3%
0101 腸管感染症	311,355	247,725	17,297	35,155	11,178	79.6%	5.6%	11.3%	3.6%
0106 その他のウイルス疾患	18,192	15,938	684	1,359	211	87.6%	3.8%	7.5%	1.2%
新生物	123,761	122,734	365	466	196	99.2%	0.3%	0.4%	0.2%
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	17,292	16,596	265	260	171	96.0%	1.5%	1.5%	1.0%
0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	3,980	3,567	157	137	119	89.6%	3.9%	3.4%	3.0%
内分泌、栄養及び代謝疾患	98,113	94,724	1,132	1,517	740	96.5%	1.2%	1.5%	0.8%
精神及び行動の障害	53,927	50,171	1,082	848	1,826	93.0%	2.0%	1.6%	3.4%
0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	7,519	5,870	290	196	1,163	78.1%	3.9%	2.6%	15.5%
神経系の疾患	51,558	48,724	1,030	1,241	563	94.5%	2.0%	2.4%	1.1%
眼及び付属器の疾患	425,931	419,620	1,491	4,371	449	98.5%	0.4%	1.0%	0.1%
耳及び乳様突起の疾患	176,470	167,512	2,351	5,070	1,537	94.9%	1.3%	2.9%	0.9%
0806 その他の内耳疾患	5,069	4,349	255	331	134	85.8%	5.0%	6.5%	2.6%
循環器系の疾患	116,780	110,157	2,480	2,662	1,481	94.3%	2.1%	2.3%	1.3%
0905 脳内出血	2,526	1,743	324	264	195	69.0%	12.8%	10.5%	7.7%
呼吸器系の疾患	2,545,304	2,353,121	65,286	112,979	13,918	92.4%	2.6%	4.4%	0.5%
1004 肺炎	25,879	22,747	1,203	1,545	384	87.9%	4.6%	6.0%	1.5%
1011 その他の呼吸器系の疾患	125,202	101,383	5,262	16,886	1,671	81.0%	4.2%	13.5%	1.3%
消化器系の疾患	266,837	248,056	5,818	9,175	3,788	93.0%	2.2%	3.4%	1.4%
皮膚及び皮下組織の疾患	648,539	631,026	6,440	8,856	2,217	97.3%	1.0%	1.4%	0.3%
筋骨格系及び結合組織の疾患	359,588	347,639	3,565	7,080	1,304	96.7%	1.0%	2.0%	0.4%
腎尿路生殖器系の疾患	172,059	163,951	2,466	3,928	1,714	95.3%	1.4%	2.3%	1.0%
1403 尿路結石症	11,123	8,713	738	790	882	78.3%	6.6%	7.1%	7.9%
妊娠、分娩及び産じょく	17,561	16,832	210	385	134	95.8%	1.2%	2.2%	0.8%
周産期に発生した病態	1,339	1,264	34	25	16	94.4%	2.5%	1.9%	1.2%
先天奇形、変形及び染色体異常	10,195	10,075	46	65	9	98.8%	0.5%	0.6%	0.1%
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見	153,972	129,200	8,439	10,408	5,925	83.9%	5.5%	6.8%	3.8%
損傷、中毒及びその他の外因の影響	325,827	270,426	22,292	24,917	8,192	83.0%	6.8%	7.6%	2.5%
1901 骨折	31,101	25,682	1,913	2,733	773	82.6%	6.2%	8.8%	2.5%
1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	2,028	1,334	302	226	166	65.8%	14.9%	11.1%	8.2%
1903 熱傷及び腐食	14,207	11,437	1,048	1,288	434	80.5%	7.4%	9.1%	3.1%
1904 中毒	5,841	5,065	319	299	158	86.7%	5.5%	5.1%	2.7%
1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	272,650	226,908	18,710	20,371	6,661	83.2%	6.9%	7.5%	2.4%

・ 時間内診療の割合（年齢補正後）を都道府県別にみると、熊本（90.6%）、愛媛（90.7%）、岐阜（90.8%）などが低くなっている。（表3-3）

表3-3 都道府県別診療時間帯の状況（平成23年12月）

都道府県	診療回数					構成割合				構成割合（年齢補正後）			
	合計	時間内	時間外	休日	深夜	時間内	時間外	休日	深夜	時間内	時間外	休日	深夜
北海道	254,550	237,448	5,608	9,305	2,189	93.3%	2.2%	3.7%	0.9%	93.2%	2.2%	3.7%	0.9%
青森	70,105	65,505	1,823	2,226	551	93.4%	2.6%	3.2%	0.8%	93.4%	2.6%	3.2%	0.8%
岩手	62,644	57,873	1,436	2,803	532	92.4%	2.3%	4.5%	0.8%	92.3%	2.3%	4.5%	0.9%
宮城	124,674	114,579	2,938	6,047	1,110	91.9%	2.4%	4.9%	0.9%	91.9%	2.4%	4.9%	0.9%
秋田	48,054	44,912	1,127	1,607	408	93.5%	2.3%	3.3%	0.8%	93.1%	2.4%	3.6%	0.9%
山形	69,290	64,700	1,509	2,540	541	93.4%	2.2%	3.7%	0.8%	93.4%	2.1%	3.6%	0.8%
福島	112,170	103,454	3,099	4,619	998	92.2%	2.8%	4.1%	0.9%	92.3%	2.8%	4.1%	0.9%
茨城	102,883	96,178	2,274	3,602	829	93.5%	2.2%	3.5%	0.8%	93.5%	2.2%	3.5%	0.8%
栃木	83,874	78,606	1,743	2,890	635	93.7%	2.1%	3.4%	0.8%	93.7%	2.1%	3.4%	0.8%
群馬	105,099	97,916	1,718	4,803	662	93.2%	1.6%	4.6%	0.6%	93.1%	1.7%	4.6%	0.6%
埼玉	179,173	168,491	3,484	5,822	1,376	94.0%	1.9%	3.2%	0.8%	94.0%	2.0%	3.3%	0.8%
千葉	118,444	110,463	2,377	4,416	1,188	93.3%	2.0%	3.7%	1.0%	93.3%	2.0%	3.7%	1.0%
東京	632,038	592,527	12,504	21,248	5,759	93.7%	2.0%	3.4%	0.9%	93.6%	2.1%	3.4%	0.9%
神奈川	210,266	195,895	4,624	7,502	2,245	93.2%	2.2%	3.6%	1.1%	93.1%	2.2%	3.6%	1.1%
新潟	125,965	120,227	1,938	3,272	528	95.4%	1.5%	2.6%	0.4%	95.5%	1.5%	2.6%	0.4%
富山	67,851	63,076	1,647	2,529	599	93.0%	2.4%	3.7%	0.9%	92.9%	2.5%	3.8%	0.9%
石川	68,867	64,068	1,461	2,863	475	93.0%	2.1%	4.2%	0.7%	93.0%	2.1%	4.2%	0.7%
福井	48,128	44,817	1,255	1,689	367	93.1%	2.6%	3.5%	0.8%	93.0%	2.7%	3.6%	0.8%
山梨	42,160	39,371	801	1,649	339	93.4%	1.9%	3.9%	0.8%	93.4%	1.9%	3.9%	0.8%
長野	97,169	89,478	2,275	4,650	766	92.1%	2.3%	4.8%	0.8%	91.9%	2.4%	4.9%	0.8%
岐阜	132,424	120,217	3,230	7,933	1,044	90.8%	2.4%	6.0%	0.8%	90.8%	2.4%	6.0%	0.8%
静岡	160,432	148,279	3,370	7,097	1,686	92.4%	2.1%	4.4%	1.1%	92.4%	2.1%	4.4%	1.1%
愛知	418,773	387,541	11,762	15,822	3,648	92.5%	2.8%	3.8%	0.9%	92.6%	2.8%	3.7%	0.9%

表3-3 都道府県別診療時間帯の状況(続き)(平成23年12月)

都道府県	合計	診療回数				構成割合				構成割合(年齢補正後)			
		時間内	時間外	休日	深夜	時間内	時間外	休日	深夜	時間内	時間外	休日	深夜
三重	89,476	82,336	2,035	4,522	583	92.0%	2.3%	5.1%	0.7%	91.8%	2.4%	5.1%	0.7%
滋賀	55,389	50,590	1,849	2,362	588	91.3%	3.3%	4.3%	1.1%	91.7%	3.2%	4.1%	1.0%
京都	130,632	119,689	4,639	4,808	1,496	91.6%	3.6%	3.7%	1.1%	91.6%	3.6%	3.7%	1.1%
大阪	509,793	472,805	14,824	16,525	5,639	92.7%	2.9%	3.2%	1.1%	92.9%	2.8%	3.2%	1.1%
兵庫	249,960	233,354	5,897	8,265	2,444	93.4%	2.4%	3.3%	1.0%	93.3%	2.4%	3.3%	1.0%
奈良	47,978	44,123	1,550	1,750	555	92.0%	3.2%	3.6%	1.2%	92.1%	3.1%	3.6%	1.1%
和歌山	49,975	46,095	1,383	1,988	509	92.2%	2.8%	4.0%	1.0%	92.2%	2.8%	4.0%	1.0%
鳥取	33,647	31,258	931	1,188	270	92.9%	2.8%	3.5%	0.8%	93.2%	2.6%	3.4%	0.8%
島根	46,075	43,470	1,020	1,247	338	94.3%	2.2%	2.7%	0.7%	94.5%	2.2%	2.7%	0.7%
岡山	134,037	123,854	3,483	5,686	1,014	92.4%	2.6%	4.2%	0.8%	92.6%	2.5%	4.2%	0.8%
広島	181,491	167,592	4,257	8,077	1,565	92.3%	2.3%	4.5%	0.9%	92.4%	2.3%	4.4%	0.9%
山口	72,384	67,305	1,639	2,895	545	93.0%	2.3%	4.0%	0.8%	92.8%	2.3%	4.1%	0.8%
徳島	52,578	49,190	1,327	1,633	428	93.6%	2.5%	3.1%	0.8%	93.4%	2.6%	3.2%	0.8%
香川	69,706	64,836	1,456	2,930	484	93.0%	2.1%	4.2%	0.7%	93.1%	2.1%	4.2%	0.7%
愛媛	91,757	83,138	2,180	5,321	1,118	90.6%	2.4%	5.8%	1.2%	90.7%	2.3%	5.8%	1.2%
高知	41,240	37,765	1,058	1,986	431	91.6%	2.6%	4.8%	1.0%	91.5%	2.6%	4.9%	1.1%
福岡	320,887	297,449	8,100	11,402	3,936	92.7%	2.5%	3.6%	1.2%	92.8%	2.5%	3.5%	1.2%
佐賀	52,009	48,574	1,154	1,888	393	93.4%	2.2%	3.6%	0.8%	93.4%	2.2%	3.6%	0.7%
長崎	78,267	72,796	1,872	2,913	686	93.0%	2.4%	3.7%	0.9%	92.9%	2.4%	3.8%	0.9%
熊本	106,181	96,124	2,387	6,695	975	90.5%	2.2%	6.3%	0.9%	90.6%	2.2%	6.3%	0.9%
大分	76,357	69,805	2,361	3,477	714	91.4%	3.1%	4.6%	0.9%	91.4%	3.1%	4.6%	0.9%
宮崎	71,394	65,227	1,540	4,032	595	91.4%	2.2%	5.6%	0.8%	91.4%	2.1%	5.6%	0.8%
鹿児島	110,247	100,968	3,013	5,207	1,059	91.6%	2.7%	4.7%	1.0%	91.7%	2.7%	4.7%	0.9%
沖縄	97,628	88,368	2,982	4,746	1,532	90.5%	3.1%	4.9%	1.6%	91.0%	2.8%	4.7%	1.6%
合計	6,104,121	5,662,332	146,940	238,477	56,372	92.8%	2.4%	3.9%	0.9%	92.8%	2.4%	3.9%	0.9%

・深夜診療の受診者の傷病別の構成割合をみると、いずれの性別、年齢階級においても、腸管感染症、症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見、他の損傷及び他の外因の影響が上位を占めている。男性は35歳以降で尿路結石症の割合が比較的高くなっている。（表3-4）

表3-4 深夜の受診者数上位5疾病と割合（平成23年12月）

男性		0-4歳		5-9歳		10-14歳		15-19歳		20-24歳		25-29歳		30-34歳		35-39歳	
順位																	
1	腸管感染症	21.9%	腸管感染症	23.7%	腸管感染症	21.5%	他の損傷及び他の外因の影響	22.3%	他の損傷及び他の外因の影響	18.2%	腸管感染症	20.9%	腸管感染症	18.3%	他の損傷及び他の外因の影響	16.3%	
2	他の急性上気道感染症	15.4%	他の急性上気道感染症	10.5%	他の損傷及び他の外因の影響	12.5%	腸管感染症	17.4%	腸管感染症	16.4%	他の損傷及び他の外因の影響	14.6%	他の損傷及び他の外因の影響	16.7%	腸管感染症	12.4%	
3	症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見	10.8%	喘息	8.4%	症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見	9.7%	症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見	9.1%	精神作用物質使用による精神障害	10.6%	症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見	8.2%	症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見	8.6%	症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見	8.3%	
4	他の損傷及び他の外因の影響	7.3%	症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見	8.4%	他の急性上気道感染症	9.1%	他の急性上気道感染症	6.1%	症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見	8.1%	他の急性上気道感染症	7.0%	他の急性上気道感染症	6.4%	他の急性上気道感染症	6.3%	
5	急性気管支及び細気管支炎	6.1%	中耳炎	8.2%	喘息	7.4%	他の呼吸器系の疾患	4.5%	他の急性上気道感染症	6.2%	精神作用物質使用による精神障害	6.8%	精神作用物質使用による精神障害	4.5%	尿路結石症	6.0%	
順位																	
1	他の損傷及び他の外因の影響	18.9%	他の損傷及び他の外因の影響	19.2%	他の損傷及び他の外因の影響	21.0%	他の損傷及び他の外因の影響	18.2%	他の損傷及び他の外因の影響	20.4%	他の損傷及び他の外因の影響	23.4%	他の損傷及び他の外因の影響	22.0%			
2	腸管感染症	11.8%	症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見	11.2%	症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見	10.8%	症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見	13.7%	症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見	14.3%	症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見	20.3%	症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見	14.8%			
3	症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見	9.4%	腸管感染症	9.6%	尿路結石症	7.5%	尿路結石症	8.0%	腸管感染症	6.8%	腸管感染症	5.0%	腸管感染症	5.8%			
4	尿路結石症	7.5%	尿路結石症	6.7%	腸管感染症	7.0%	腸管感染症	6.5%	他の心疾患	4.2%	他の消化器系の疾患	4.8%	他の消化器系の疾患	5.4%			
5	他の急性上気道感染症	4.7%	他の急性上気道感染症	4.3%	他の消化器系の疾患	3.8%	他の皮膚及び皮下組織の疾患	3.9%	他の皮膚及び皮下組織の疾患	4.0%	尿路結石症	3.1%	虚血性心疾患	3.6%			
女性		0-4歳		5-9歳		10-14歳		15-19歳		20-24歳		25-29歳		30-34歳		35-39歳	
順位																	
1	腸管感染症	22.8%	腸管感染症	27.3%	腸管感染症	25.4%	腸管感染症	22.0%	腸管感染症	26.4%	腸管感染症	29.4%	腸管感染症	29.2%	腸管感染症	22.9%	
2	他の急性上気道感染症	16.9%	他の急性上気道感染症	10.9%	症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見	10.0%	他の損傷及び他の外因の影響	14.4%	症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見	9.8%	症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見	10.3%	症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見	10.2%	他の損傷及び他の外因の影響	11.7%	
3	症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見	10.8%	症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見	9.6%	他の損傷及び他の外因の影響	9.8%	症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見	10.2%	他の損傷及び他の外因の影響	9.1%	他の損傷及び他の外因の影響	8.0%	他の損傷及び他の外因の影響	7.1%	症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見	10.5%	
4	他の損傷及び他の外因の影響	6.4%	中耳炎	7.7%	他の急性上気道感染症	7.4%	他の急性上気道感染症	5.7%	他の急性上気道感染症	6.2%	他の急性上気道感染症	7.1%	他の急性上気道感染症	6.0%	他の急性上気道感染症	5.4%	
5	急性気管支及び細気管支炎	5.9%	他の消化器系の疾患	5.4%	他の呼吸器系の疾患	6.6%	急性咽頭及び扁桃炎	4.8%	急性咽頭及び扁桃炎	4.1%	胃及び十二指腸炎	3.7%	胃及び十二指腸炎	3.8%	胃及び十二指腸炎	3.7%	
順位																	
1	腸管感染症	17.8%	他の損傷及び他の外因の影響	14.4%	他の損傷及び他の外因の影響	14.8%	他の損傷及び他の外因の影響	15.9%	症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見	14.9%	症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見	15.4%	症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見	15.7%			
2	他の損傷及び他の外因の影響	13.4%	腸管感染症	13.7%	腸管感染症	14.7%	症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見	15.2%	他の損傷及び他の外因の影響	13.0%	他の損傷及び他の外因の影響	15.4%	他の損傷及び他の外因の影響	11.9%			
3	症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見	13.0%	症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見	13.0%	症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見	13.5%	腸管感染症	12.7%	腸管感染症	12.3%	腸管感染症	10.5%	腸管感染症	6.8%			
4	他の急性上気道感染症	4.9%	他の皮膚及び皮下組織の疾患	4.1%	他の皮膚及び皮下組織の疾患	3.8%	骨折	4.0%	他の皮膚及び皮下組織の疾患	3.7%	高血圧性疾患	3.9%	他の消化器系の疾患	5.5%			
5	胃及び十二指腸炎	2.9%	胃及び十二指腸炎	3.5%	他の消化器系の疾患	3.3%	他の皮膚及び皮下組織の疾患	3.3%	骨折	3.6%	他の消化器系の疾患	3.4%	他の心疾患	4.7%			